

2019年の国内メディア・コンテンツと5分野の関連産業の市場規模総計は56.5兆円、GDPの9.9%を占め、建設投資額に迫る規模になっている。

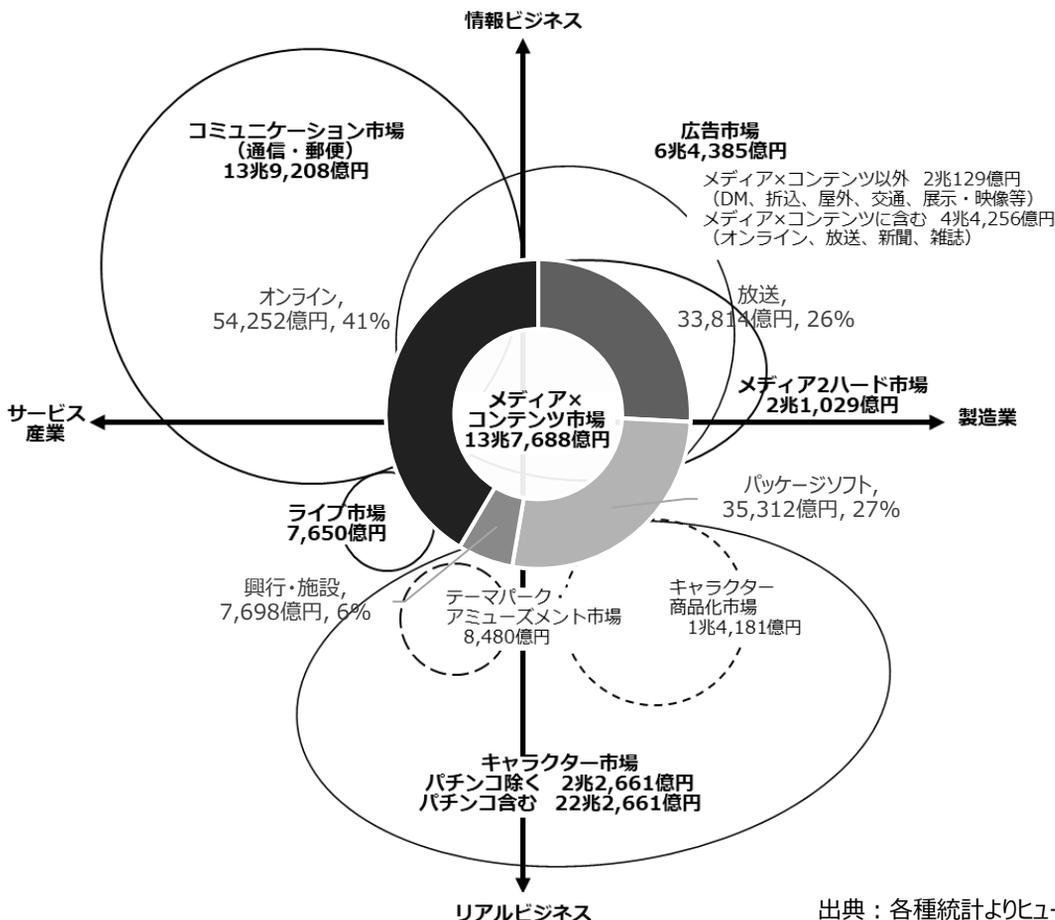
メディア・コンテンツ市場と密接に関係し、ほぼ同一の市場＝ユーザーを対象とするコミュニケーション、広告、キャラクター、メディアハード、ライブを関連産業として市場の規模を調査した。5分野の関連産業の市場にメディア・コンテンツ市場を加えると、2019年に総計56兆5,847億円、2019年の日本のGDP 553兆7,600億円の約9.9%の規模になる。

※メディア・コンテンツ関連産業の内訳

- ・コミュニケーション市場：固定電話・携帯電話による通話、インターネット接続料、データ通信料、郵便
- ・広告市場：メディア・コンテンツ市場に算入済みのオンライン、放送、新聞、雑誌の広告以外、販促費等
- ・キャラクター市場：マンガやアニメ、ゲームから生まれたキャラクターを活用するキャラクター商品、テーマパーク、パチンコ
- ・メディアハード市場：映像・音楽・ゲーム専用機器、PC・携帯電話等汎用機器
- ・ライブ市場：音楽やスポーツ、演芸・演劇等の興行

衣食住の産業と比較すると、メディア・コンテンツ市場、コミュニケーション市場はともに「織物・衣服・身の回り品の小売業売上」の10兆9,880億円（2019年・経済産業省商業動態統計）を上回る規模になっている。関連市場は、パチンコを除いても外食産業の市場規模の26兆439億円（2019年・財団法人 食の安全・安心財団 附属機関外食産業総合調査研究センター 調べ）を約10兆円上回り、関連市場の総計は建設投資額の62兆9,400億円（2019年度見通し額・国土交通省総合政策局 建設統計室発表）に迫る規模となっている。

国内メディア・コンテンツ産業と関連産業の関係（2019年）



出典：各種統計よりヒューマンメディア推計